



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第4号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第4号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1984, 30(4): 588-588

ISSUE DATE:

1984-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118148>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 4 ACTA UROLOGICA JAPONICA April 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第4号 1984年4月

新セフェム系抗生物質の抗緑膿菌作用……………大越 正秋…	437
膀胱癌患者の細胞性免疫能に関する研究	
第10報: 血清 IAP, ASP について……………西尾 正一・ほか…	449
内視鏡上膀胱癌と慢性膀胱炎との	
鑑別不能例における組織学的検討……………岡村 菊夫・ほか…	459
膀胱扁平上皮癌の臨床統計的観察……………香川 征・ほか…	467
尿路外傷の臨床的観察……………松村 勉・ほか…	471
感染結石における結石内細菌と結石構築について……………竹内 秀雄・ほか…	479
尿路感染症: 泌尿器科領域での	
Antibody-coated bacteria (ACB) の臨床的意義……………安本 亮二・ほか…	489
子宮癌, 直腸癌根治術後の	
排尿障害に対する非無菌的間歇的自己導尿法の経験……………天野 俊康・ほか…	493
炎症性尿管管囊腫の1例……………田中 寛・ほか…	501
先天性男児前部尿道憩室の1例……………駒田佐多男・ほか…	507
進行した精上皮腫に対する化学療法……………林正 健二・ほか…	513
急性単純性膀胱炎の再発に関する臨床的研究……………守殿 貞夫・ほか…	519
女子再発性尿路感染症の再発予防に関する研究	
—Pipemidic acid の少量・長期間予防投与—……………榊 知果夫・ほか…	529
前立腺肥大症に対するオキシンドロンの使用経験	
—臨床効果と血清脂質への影響について—……………安川 明廣・ほか…	537
前立腺癌に対する (D-Leu ⁶)-des Gly-NH ₂ ¹⁰ -LH・RH	
ethylamide (Leuprolide) の臨床効果……………山中 英寿・ほか…	545
神経因性膀胱に対する KN-7 錠の臨床評価	
—ロバベロン注射剤を対照とした二重盲検比較試験—……………園田 孝夫・ほか…	561
男子不妊症に対する Methylcobalamin (CH ₃ -B ₁₂) の使用経験……………磯山理一郎・ほか…	581

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (3) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または 山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (4) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (5) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (6) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (7) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (8) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員) 題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (9) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (10) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
 - (11) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
3. 掲 載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)